

プレス資料



Dossier de Presse

リュブロン観光局



©JudithVoyage



DESTINATION
LUBERON

リュブロン観光局





はじめに

リュブロン、
ヴォークリューズ山脈、
ペイ・デ・ソルグにまたがる
広大にして唯一無二の
デスティネーション
またとない旅を
お楽しみください！

リュブロン (Luberon) は、リュブロン山塊 (massifs du Luberon) とヴォークリューズ山脈 (Monts de Vaucluse) の懐に位置します。「フランスの美しい村々」(Les Plus Beaux Villages de France) に選ばれたゴルド (Gordes)、ルールマラン (Lourmarin) をはじめ、高所に築かれたいくつもの鷹の巣村や、ブドウ畑、白樺、オリーブの樹々に彩られた風光明媚な村々、魅力あふれる街カヴァイオン (Cavaillon) などがあります。

カヴァイオンからほど近いリル・シュル・ラ・ソルグ (L' Isle sur la Sorgue) は、心地よい旅の時間を過ごすのにふさわしい楽園のような場所です。果樹園やブドウ畑を徒歩や自転車で散策し、骨董や古道具、目にも楽しい色とりどりの品々が並ぶ市場を巡りましょう。歴史的建造物や大自然を訪ね、この地に暮らす人びとの個性を育んできた伝統や、地域で培われてきた熟練の技と知恵を発見されてください。

旅の鍵となる情報



リュブロン
地方自然公園
PARC NATUREL
RÉGIONAL DU
LUBERON

ユネスコの生物圏保存地域・
世界ジオパークに
認定されている自然公園





6つの「フランスの美しい村々」登録村



- ・ゴルド (Gordes)
- ・ルールマラン (Lourmarin)
- ・メネルブ (Ménerbes)
- ・アンスウィ (Ansouis)
- ・ヴナスク (Venasque)
- ・ルシヨン (Roussillon)

宿泊施設

- ▼ 5つ星ホテル：6軒
- ・ルレ・エ・シャトー加盟：3軒
- ・パラス認定：1軒
- ▼ 4つ星ホテル：12軒
- ・ルレ・エ・シャトー加盟：1軒

グルメ

- ▼ 400以上のレストラン
- ・ミシュランの星を獲得した28のレストラン
- ▼ 特産物の生産者
- ・78のワイン醸造所 (AOC リュブロン、ヴァントゥー、コート・デュ・ローヌ・ヴィラージュ・ガダーニュ) (Côtes du Rhône Villages Gadagne)
- ・33の搾油所 (AOP 認定プロヴァンスのオリーブオイル)。

ソフトモビリティ

- ・8つの自然遊歩道 (GR)
- ・50を超えるハイキングルート
- ・30を超える自転車ルート



©JudithVoyage



DESTINATION

地図で見るリュブロン、 ヴォークリューズ山脈、 ペイ・デ・ソルグ

マルセイユ・プロヴァンス空港 (aéroport de Marseille Provence) から1時間、TGVのアヴィニョン (Avignon) 駅とエクス・アン・プロヴァンス (Aix-en-Provence) 駅から45分。リュブロン地方自然公園 (Parc Naturel Régional du Luberon) に位置するデスティネーションは、西をA7高速道路、南をペルテュイ (Pertuis) 付近でA51高速道路と接しています。アヴィニョン方面に向かってすぐかたわらには、リル・シュル・ラ・ソルグの街があるペイ・デ・ソルグの平野が広がります。

サイクリングにファーマーズマーケット、村を散策して仲間と寛ぎ楽しむアペリティフ、星空の下で聴く野外コンサート、息を呑むような絶景に出会うハイキング……。日常のせわしなさを忘れ、ここでしか味わえない極上の旅の時間をお過ごしください。

リュブロンへようこそ!



-  マルセイユ空港から45分
-  ニース空港 (aéroport de Nice) から2時間30分
-  リヨン (Lyon) から1時間
-  パリから2時間30分
-  A7 / A51 高速道路
-  アヴィニョン: 35分
-  エクス・アン・プロヴァンス: 40分



目次



8 **さまざまな村**
フランスの美しい
村々を探して



13 **文化**
歴史に育まれた
豊かな文化



18 **大自然と
ウェルビーイング**
アウトドア・
アクティビティの楽園



22 **グルメ**
華やかな彩りと
深い味わい



26 **おすすめ情報**
各種イベントと
旅のプラン



32 **お問合せ**

これぞ リュブロン…



自分のために時間を過ごしたい、やすらぎのひとときが欲しい…。それならばどうぞリュブロン
の四季を見つめかおいでください。あなたの旅にインスピレーションを与える情報をご案内します。心
静かにすっきりリラックスして活力をチャージ。南仏プロヴァンスの暮らしの流儀を発見する旅に出
かけましょう。



さまざまな村

リュブロンの特徴といえば、切り立った崖上に拓かれていますか、リュブロン山塊やヴォークリューズ山脈に寄り添うように築かれています。

渓谷を見下ろす村や、オリーブやケルメスオウクの樹々に囲まれた村を訪ねましょう。いずれの村も見晴らしがよく、リュブロン山塊、ヴァントゥー山、モンミライユ山脈 (dentelles de Montmirail)、アルピーユ山脈 (Alpilles)、ときにはサント・ヴィクトワール山 (Sainte-Victoire) など、南仏のもっとも名高い山々の絶景を望むことができます。

村々では、歴史をいまに伝える場所や建物を大切に保護しています。石畳の小路や花々に彩られた庭園、遺跡や高台の教会などが織りなす風景をお楽しみください。

フランスの美しい村々

174の村落が、「フランスの美しい村々」のラベルを獲得していることをご存じでしょうか (2023年現在)。ヴォークリューズ県では7つを数え、うち6つの村がリュブロンに近接して位置しています。

- ▼ ゴルド
- ▼ ルシヨン
- ▼ メネルブ
- ▼ ルールマラン
- ▼ アンスウィ
- ▼ ヴェナスク



選考基準を満たして「フランスの美しい村々」協会に加入した村は、協働して観光の開発と促進に取り組んでいます。主たる選定基準には、(人口が2000人を超えない) 村落であること、最低2つの(歴史的記念物に認定されている) 国家遺産があること、議会で承認を得ていることの3つがあります。



リル・シュル・ラ・ソルグ Isle-sur-la-Sorgue



ソルグ川が流れる街

「コンタヴネサンのヴェニス」(La Venise Comtadine) と呼ばれているリル・シュル・ラ・ソルグ。かつてコンタヴネサン (ヴナスク伯爵領) であった街には、ソルグ川 (La Sorgue) といくつかの運河が流れています。いまもむかしも変わらず、ソルグ川はリル・シュル・ラ・ソルグの暮らしに欠くことができません。この地で育まれてきた大切な遺産のすべてが、川沿いに築かれた街区、清らかな水路、そして街の歴史と密接に結びついているのです。

漁業は言うまでもなく、大小さまざまある無数の工場の発展を支えてきたソルグ川は、街の繁栄に寄与してきました。人びとの暮らしと歴史はソルグ川をめぐって繰り広げられてきたのです。まさに川が、街の暮らしと歴史のもっとも豊かでかけがえのない特徴のひとつをなしています。ソルグ川はリル・シュル・ラ・ソルグの小さな路地をいくつも横切って流れ、今日も、いにしへの産業の記憶を宿す水車を動かしています。



自転車で巡るリル・シュル・ラ・ソルグ周辺

「泉からコンタヴネサンのヴェニスまで」(De la Source à la Venise Comtadine) は、川沿いの 20km を走るサイクリングルートです。コンタヴネサンのヴェニスことリル・シュル・ラ・ソルグから、ソマーヌ・ド・ヴォークリューズ (Saumane-de-Vaucluse) の鷲の巣村を経て、フォンテーヌ・ド・ヴォークリューズ (Fontaine-de-Vaucluse) まで、プロヴァンスが誇るソルグ川に育まれた景観を楽しむ自転車散策はいかがでしょう。途中サイクリングルート「ヴェロルート・デュ・カラヴォン (Véloroute du Calavon)」に合流することもできます。



アンティークの楽しみ

アンティーク愛好家の天国。リル・シュル・ラ・ソルグの骨董マーケットは、プロヴァンス随一の規模を誇ります。1978年に最初のアンティーク村が誕生して以来、街はヨーロッパ中にその名を轟かせてきました。約 300 の専門店が月曜日から金曜日まで営業しており、家具、絵画、美術品、宝石、書籍、レコード、アイアンなど、さまざまな魅惑のオブジェが見つかる世界有数のアンティーク村となっています。国際アンティーク見本市の期間には数多くの出展者が集まり、街全体が青空市へと姿を変えます。プロのディーラー、蒐集家、アンティークの初心者問わず、誰もがリル・シュル・ラ・ソルグでお気に入りの逸品を見つけることでしょう。

あわせて訪ねたい 村と街



神秘の泉 フォンテーヌ・ド・ ヴォークリューズ

ソルグ川の起点であるフォンテーヌ・ド・ヴォークリューズ（ヴォークリューズの泉）。訪れるひとの心を惹きつけてやまないこの神秘の泉は、ラテン語の **Vallis Clausa**（閉ざされた谷）に由来する緑豊かなヴォークリューズの溪谷、高さ240メートルの断崖の足もとにあります。水深223メートルから湧き出す水は、ヴァントゥー山、ヴォークリューズ山脈、アルビオン高原（Plateau d'Albion）、ルール山（Montagne de Lure）から流れて大地にしみ込んだ雨水と雪解け水です。フォンテーヌ・ド・ヴォークリューズは、1240平方キロメートルを超える地下の「貯水池」に蓄えられた水が湧き出す唯一の場所であり、フランス最大の水源地であり、世界でも有数の湧出量を誇っています。フランチェスコ・ペトラルカ、フレデリック・ミストラル、ルネ・シャールといった、名だたる詩人や哲学者がこの泉に着想を得てきました。ここは数々の神話や伝説、おとぎ話や夢、詩や物語を生む想像力にひらめきを与える源泉なのです。

リュブロンの村のすべてに観光ラベルがついているわけではありません。けれども、どの村も個性的で、かけがえのない魅力にあふれています。鷲の巣村に、ブドウ畑やオリーブ畑に囲まれた村。どうぞ、さまざまあるリュブロンの村と小さな街を訪ねてみてください。例えば、

- ▶ オペード・ル・ヴュー (Oppède-le-Vieux)
- ▶ セニヨン (Saignon)
- ▶ メランドール (Mérindol)
- ▶ ロリス (Lauris) …ほかにも魅力的な村や街が多数あります。



文化

歴史を物語るすばらしき遺産

村々とその近郊に刻まれた歴史の足跡をたどってみましょう。リュブロンの景色を織りなすブドウ畑とオリーブ畑は、カヴァイヨンやドミティア街道（Via Domitia）など、そもそもギリシャ人とローマ人の手で植えられたものです。古代以来、この地はさまざまな影響を受けてきました。代表的なものとしては、ローマ教皇のアヴィニオンへの遷座、イタリアのピエモンテで創設されたキリスト教一派であるヴァルド派信者たちの移住、そして、迫害から逃れ、ヴォークリューズの4つの大きな街に保護されたユダヤ人の台頭などを挙げるすることができます。また、かつては「プロヴァンスの災い」と称されるほどの激流であったデュランス川も忘れてはなりません。石灰岩の採石場と、農作物の灌漑用水路としてデュランス川から引かれた運河は、リュブロンの歴史をいまに伝える景観をつくりあげています。



第二次世界大戦後、リュブロンは陽光と気候は芸術家たちを魅了してきました。この地ならではの景観は、彼らの想像力を大いに刺激したのです。

低地や都市へと村人が移住し、運命のなすがまになつていたリュブロンは、こうして、芸術家たちによって新しい命を吹き込まれました。

一見の価値あり

リュブロン城の城巡り

15世紀に建てられた壮大なルネッサンス様式のルールマラン城 (Château de Lourmarin) から、いまや廃墟となったオペードル・ヴュー城を経て、サド侯爵が子ども時代を過ごした慎ましいソマーヌ・ド・ヴォークリューズ城 (Château de Saumane-de-Vaucluse) まで、「プロヴァンスの城街道」 (route des Châteaux de Provence) を巡り、時代を行き来するリュブロン城の歴史探訪をお楽しみください。

その他のおすすめの城

- ▼ ゴルド城 (Château de Gordes)、現在は展覧会会場
- ▼ ラコスト城 (Château de Lacoste)、サド侯爵の居城
- ▼ アンスウィ城 (Château d'Ansouis)、みごとなフランス式庭園



すばらしき 歴史遺産

リュブロン城のヴァルド派信者

プロテスタントの一教派、ヴァルド派がリュブロンに定住しはじめたのは1399年のことです。移住の勧めに応じ、1000世帯以上の信者がアルプスを越えてやってきました。彼らはその文化と、何よりも、12世紀末のリヨンの説教者ピエール・ヴァルドから受け継いだ信仰をリュブロンにもたらしたのです。

1528年、アプト (Apt) の街の司教であったジャン・ニコライは、彼らを異端審問にかけました。1540年にはメランドールの勅令により、ヴァルド派は異端として断罪されます。迫害が始まったのはその5年後です。1545年4月、ヴァルド派の村々が襲撃され、土地が没収され、物品が略奪されました。リュブロン城の歴史が黒く染まったこの期間、じつに3000人以上のヴァルド派信者が命を落としました。その後、プロテスタントにもカトリックと同等の権利を認めるナントの勅令が發布されますが、1685年に撤回され、ヴァルド派は再び弾圧の対象となります。こうして生き残ったリュブロン城のヴァルド派の子孫400人は、プロヴァンスを離れて南アフリカへ渡り、迫害から遠く離れた地で新たな生活をはじめました。

豊かな歴史を宿す リュブロン

2500年以上にわたり、リュブロンはつねに大勢の人びと、さまざまな共同体 (ヴァルド派信者、ユダヤ教徒、カトリック教徒) を受け入れきました。どうぞローマ時代から現代に至る歴史を物語るリュブロン城の遺産を発見されてください。

メランドールにあるヴァルド派の村の遺構、カストルム (Castrum) など、歴史の舞台となったさまざまな場所へ出かけましょう。

歴史的建造物

サン・フィルマン宮殿のカーヴ (CAVES DU PALAIS ST FIRMIN)

岩盤を掘ってつくられた地下室は、中世において、ゴルドの職人たちの作業場として利用されていました。想像を超える神秘的な空間は必見です。オーディオガイドは10か国語に対応しています。4月から10月まで営業。



ボリーの村 (VILLAGE DES BORIES)

1970年代に復元された村には、いくつかのボリー (bories) があります。ボリーとは羊飼いたちが野山で過ごす放牧期に利用していた家屋です。乾いた石造りを特徴とするボリーで、人びとがどのように暮らしていたかをご覧ください。



セナンク修道院 (ABBAYE DE SÉNANQUE)

12世紀に建てられたシトー派の修道院は、ゴルドから4キロメートル、セナンコール川 (la Sénancole) が流れる渓谷に位置します。安らぎの宿りであるこの地に携帯電話の通信網はなく、静かに歴史が紡がれています。セナンク修道院にはいまなお5人の修道院が暮らし、日々の務めに励んでいます。リュブロンの旅の必見スポットです。



16



ミュージアム

ラベンダー博物館 (MUSÉE DE LA LAVANDE)

「プロヴァンスの青き黄金」(or bleu de Provence) と呼びならわされる南仏の象徴、ラベンダー。そのすべてを知ることができる博物館です。

カヴァイヨンのシナゴーク (LA SYNAGOGUE DE CAVAILLON)

シナゴーク (ユダヤ教会堂) は、古プロヴァンス語で「カリエット」(carriera) と呼ばれた、カヴァイヨンの旧ダヤ人居住地に位置しています。1772年と1774年に再建されたシナゴークは、礼拝の場、学びの場、そして人びとの集いの場として、「コンタヴネサンのユダヤ人 (Juifs du Contat)」の暮らしを見守りつづけてきました。

フィラヴァンチュール (LA FILAVENTURE)

繊維産業とリル・シュル・ラ・ソルグの街のつながりを知ることができるミュージアム。世界でもっとも美しい繊維について、そのすべてを学びましょう。

カンプレドン (CAMPREDON)

ソルグ川のほとりにある壮大な展覧会会場であり、歴史を宿す遺産であるカンプレドン。写真や近代美術・現代美術の展示をお楽しみいただけます。

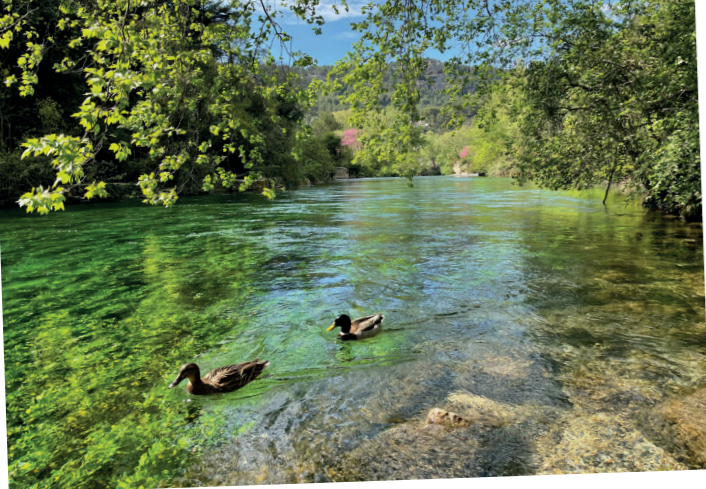
アガー邸 (L'HÔTEL D'AGAR)

この地の歴史の一章をなしていると言って過言でない、かつての貴族アガー家の邸宅。壮麗な館は、カヴァイヨンのサンジャックの丘 (Colline Saint-Jacques) の麓、ローマ時代の街の遺構の上に建てられています。建物のもっとも古い部分は12世紀にまで歴史をさかのぼることができます。屋敷を取り巻く庭園には2000年前の痕跡を見てとることができます。2011年、フランス歴史的記念物に認定されました。

ミヌ・ド・ブリュー (MINES DE BRUOUX)

オークル採掘場跡で地底を探検するガイドツアーに参加しましょう。赤や黄土色の顔料の原料となるオークルの採掘について知ることができます。

17



大自然

リュブロン地方自然公園

デスティネーションが位置するリュブロン地方自然公園。この比類のない美しさを誇る田園地帯は、人びとの生活の質 (QOL)、文化と歴史に育まれた遺産、そして景観によって広く知られています。面積は1850平方キロメートル。標高はもっとも低いところで70メートル、もっとも高い「大リュブロン (Grand Luberon)」山脈のムール・ネーグル (Mourre Nègre) の頂上では1125メートルあります。リュブロン地方自然公園は、プロヴァンス・アルプ・コートダジュール (Provence-Alpes-Côte d'Azur) 地方が有する7つの自然公園のひとつです。

1997年、ユネスコにより生物圏保存地域に認定されました。

注意!

夏季、乾燥と高温による火災の危険を避けるため、地元当局がハイキングコースへの立ち入りを禁止することがあります。ご了承ください。

ユネスコ生物圏保存地域

つまり何のこと?

生物圏保存地域 (日本では、ユネスコエコパークとも呼ばれる) は、生物多様性の保全とその持続可能な利用を調和させる解決策を促すものです。これまでに認定を受けた地域は、生物多様性の保全、経済と社会の持続可能な発展に関する学習の場として、2億5000万以上の人びとの生活に影響を与えています。

現在、134か国に738の生物圏保存地域があり、うち22は国境を越えた地域にまたがります。リュブロンは生物圏保存地域のひとつとして、世界的なネットワークの一員となっているのです。



©George Henry Nolan

景勝地フォンテーヌ・ド・ヴォークリューズをめぐる取り組み

2021年3月18日、フォンテーヌ・ド・ヴォークリューズに対する「オペレーション・グラン・シット」(Opération Grand Site (OGS)) の始動が公式に発表されました。OGSとは、協議にもとづき、国と地方自治体と景勝地の関係者が連携して行う取り組みです。訪問者の受け入れ環境を改善し、脆弱性を抱える景勝地の美しさを保全し、地域住民と行楽客の双方にとって心地よい環境を整えることを目的としています。



©Sam Bié

カヴァイヨンのヴィア・フェラータ

2013年にオープンしたカヴァイヨンのヴィア・フェラータ (Via Ferrata) は、2つのルートを用意、市街地から徒歩でアクセスが可能です。「ヴィア・ナチュラ (Via Natura)」は身長130cm以上のめまいのない方を対象としたルート。難易度の高い「ヴィア・スーテラータ (Via Souterrata)」は、洞窟や断崖を横断するスリル満点のルートです。

大興奮の空中散歩

鳥になった気分でごライダーに乗り、デュランス川とリュブロンの大地を見下ろしながら空を飛びまわしましょう。きっと忘れられない思い出になるはず! 熱気球で空中散歩もおすすめです。空の高みから、デスティネーションの絶景をお楽しみください。



©TODD Production

動物と一緒になかよく散歩

ロバと一緒に、あるいはリヤマや馬と一緒になかよく出かけましょう。リュブロン森やデュランス川沿い、ガリッグ (灌木林) を散歩します。

ヨガ&ウェルビーイング

大自然に抱かれるヨガ講習は、あなたが自分らしさを取り戻す時間になるはず…。



ネイチャーアクティビティの 楽園へようこそ

ここではネイチャーアクティビティの楽園です。たとえば、マウンテンバイクのベテランライダー、クライマーやヴィア・フェラータの愛好家…。あるいは、のんびりサイクリングやロバとのハイキング、カメラで水上散歩を楽しむファミリー…。すべてのひとにお楽しみいただけます。雄大な田園地帯リュブロンで、感動を分かち合い、さまざまな発見しましょう。胸いっぱい空気を吸って、歩いて、走って、ペダルを漕いで!

手付かずのままの自然、象徴的な風景、森の小道、静かで心洗われる場所、ラベンダーの青い色、壁や家屋や断崖など、そこかしこに見られる石の白い色。この地の両端をふち取って流れるソルグ川とデュランス川…。



- ▼ ハイキング
- ▼ サイクリング
- ▼ マウンテンバイク
- ▼ トレイルランニング
- ▼ クライミング
- ▼ ヴィア・フェラータ

自然散策

リュブロン、ヴォークリューズの山々へ出かけましょう。自然と歴史の両方に出合う散策をお楽しみください。道標のある遊歩道が縦横無尽に張り巡らされ、家族や友人と一緒に歩きたいひとや、スポーツとして歩きたいひとなど、さまざまなニーズに応えるルートがあります。長距離トレッキングに挑戦してみたいひとには、リュブロンとヴォークリューズの山々を北から南へ、あるいは東から西へ、2日間かけて横断するルートがおおすすめです。自然遊歩道(GR)の6番、91番、97番ルート、あるいはヴォークリューズ山自然遊歩道(GR de Pays Monts de Vaucluse)、「ペストの道(Sentier de la Peste)」をたどり、田園地帯の冒険に繰り出しましょう。



©fmr_travelblog

リュブロンでサイクリング

曲がりくねった道や森の小道でひたすらペダルを漕ぐのは、友人や家族と一緒にはもちろん、ひとりでも文句なしに楽しいものです。あなたの目の前に、時間を超越した風景や、乾いたのどを潤しに寄るのにうってつけの魅力的な村々が次々と現れます(自転車道ルート沿いに3キロメートルごと、最大で10キロメートルごとに村があります)。

「リュブロン・ア・ヴェロ(Luberon à Vélo)」は全長236kmの観光自転車ルートです。リュブロンとヴォークリューズの山々を横切る63kmの範囲に道が張り巡らされています。

マウンテンバイク

ゴルドの「ヴォークリューズ横断(Grande Traversée du Vaucluse)」ルート、リュブロンの複数の村を結ぶ「リュブロン横断(Grande Traversée du Luberon)」ルートでマウンテンバイクを楽しみましょう。スリルを味わいたいライダー向けのハイレベルな行程です。

ヴェロルート・デュ・カラヴォン

家族連れにおすすめのサイクリングルート。カヴァイオンからボーメット(Beaumettes)までの45kmは、かつて鉄道が通っていたところに整備されています。アプト方面までつづく全長36kmのルートは、自転車とローラーブレード専用で安全に走行することができます。



グイルメ

おいしさと喜びを

リュブロンの特産品がもたらす、おいしさと喜びをどうぞ自身で味わってください。熱心でフレンドリーな生産者と出会うのもよし、まるで絵のように美しい農場を訪ねるのもよし、マルシェ（市場）を散策するのもよし。これぞプロヴァンスというおいしい料理をつくるために必要な食材を見つけに行きましょう。もりだくさんの新鮮な果物と野菜、オリーブオイルに蜂蜜、花、ワイン。素敵なテーブルを囲み、ひと口ごと、あなたはおいしさと喜びを噛みしめるはず。飾り気のない、けれども魔法のようなひとときを演出しましょう。

才能あふれるシェフのかたわらで一緒に料理をするのもよし。目の覚めるようなおいしさ、予想外の組み合わせから生まれる味わいが、きっとあなたの探究心を刺激するはずです。



©want2becity



©want2becity

マルシェ

リュブロンのあるマルシェ（市場）でおいしい果物や野菜を見つけることができるのは、この地に降り注ぐ太陽のおかげでしょう。夕方に開かれるファーマーズマーケットや、夏季には、日曜の朝と水曜の夜に開かれるファーマーズマーケット「マルシェ・ド・クステレ (marché de Coustellet)」もあります。その日一番に訪れる客を迎えるため、果物や野菜は、朝または前日の晩に収穫されています。ジューシーでビロードのような桃、つややかでしっかりとしたサクランボにイチゴ…。ここでは、おいしさと美しさが一致しているのです。4月から12月末までは、リュブロンでもっとも大きなファーマーズマーケットが開かれています。

オリーブオイル

あなたが興味を惹かれるのは、オリーブの育て方、テイasting、それとも地中海の食文化でしょうか。オリーブ畑を散策して栽培の様子を見学するならば、夏がおすすめです。一年中催されている特別なテイasting講座では、試食や試飲を楽しめます。オリーブ博物館に足を運び、さまざまな品種やオリーブにまつわる文化について知るのもいいでしょう。

搾油所を訪ね、搾りたてのオイルの香りを楽しみ、樹々の間を歩き、タプナード（オリーブのピュレにニンニク、アンチョビオイル、ケーパーを混ぜたもの）を味わいましょう。

11月から12月にかけて収穫されたオリーブは、搾ってオイルに、あるいは実を加工した製品に生まれ変わります。1リットルのオイルに必要な果実の量は5～8kg。11月初旬の搾油で得られるオイルは緑の果実の風味 (fruité vert) です。シーズンが終わりに近づくと、赤や紫に熟した果実の風味 (fruité mûr)、そして黒い果実の風味 (fruité noir) へと移り変わります。この地域で最も多く栽培されている「アグランドー (Aglandau)」という品種から生み出されるオリーブオイルは、コクがあり力強く、それでいて優しい味わいです。

アグリツーリズムとオリーブオイル

オリーブ栽培は古代から行われてきました。小さくて緑色をした驚異の果実オリーブ。栽培から健康上の利点に至るまで、リュブロンではオリーブの歴史、味、文化について知る機会が豊富にあります。搾油所では、オリーブオイルがどのようにできるのかを間近で見学することもできます。ゴルドの農園ラ・フェルム・レ・カリ (La Ferme les Callis)、カヴァイヨンの農園ル・マス・オノラ (le Mas Honorat) はどちらもオリーブの樹々に囲まれた環境にあり、旅人にこれまでにない体験をさせてくれます。

生産者との 出会い

リュブロンとペイ・デ・ソルグでは、そこかしこで地産地消の取り組みが行われています。ファーマーズマーケットや農家の直販所は、ほぼ一年中利用することができます。アスパラガスとイチゴは4月から、かぼちゃは9月または10月から購入できます。12月にはトマト…は見つかりませんが、じゃがいも、ねぎ、りんごがおいしい季節です。この地では、大自然のサイクルが旬を教えてくれるのです！



©want2becity

トリュフ

ヴォークリューズの黒いダイヤモンド?
「ヴォークリューズの黒いダイヤモンド(diamant noir du Vaucluse)」は、トレーサビリティが確保された最高品質のトリュフの証。生産者たちによって設けられた食品ラベルです。黒トリュフの最高峰、洗練されたアロマを持つチュベル・メラノスポルム(tuber melanosporum)をぜひご賞味ください。

黒トリュフの一大産地、 ヴォークリューズ

ヴォークリューズはトリュフ栽培発祥の地であり、フランス随一の産地でもあります。地中海性気候で石灰質の土壌を持つヴォークリューズは、チュベル・メラノスポルムの生育に最高の条件を備えています。黒トリュフは「ペリゴール・トリュフ」と呼ばれることもありますが、トリュフ栽培がはじまったのは、紛れもなくここ、ヴォークリューズなのです。



3つの誓い

鮮度

鮮度の高いトリュフは豊かな芳香を強く放っています。新鮮さの証として、生産者は収穫日を明示し、それから1週間以内のトリュフのみを販売しています。

成熟度

黒トリュフはもともと黒いわけではありません。白から灰色へ、そして濃い灰色へと変化し、完熟してすっかり黒くなるのです。味わいは、成熟度に比例して深くなっていきます。「ヴォークリューズの黒いダイヤモンド」が真の黒トリュフであることの証として、私たちは断面をお見せしています。

品質

「ヴォークリューズの黒いダイヤモンド」ラベルは、生産者たちが妥協を許さない最高峰のトリュフの証なのです。

ワイン

光にあふれるワインの産地へ心躍る冒険に繰り出しましょう。ローヌ渓谷でつくられるリュブロンワインは、複雑で魅惑的なアロマに彩られた、赤、白、ロゼ。その個性はブドウの品種、土壌、気候によるものであり、ワイン生産者の優れた技術と知識の賜物でもあります。
リュブロンでは、赤、白、ロゼ、すべてのワインが、この軽い石灰質や砂地質の軽い土壌から生まれるのです。



©JudithVoyage

AOC リュブロン

肉厚な果実味としなやかさのあるリュブロンワイン。ブドウ品種の違いが異なる個性を生み出します。白とロゼは、いきいきとしたフレッシュさとふくよかな花の香りが際立っています。赤ワインは、胡椒のような香り、さまざまなスパイスと甘草のアロマを持ち、熟成するにつれてトリュフやなめし皮の香りが現れます。
仲間と過ごす喜びの時間にふさわしい、リュブロンワインをご堪能ください。



©JudithVoyage

リュブロン地方自然公園に 広がるブドウ畑

比類のない豊かさと多様性を持つリュブロン大自然。生産者たちはその保護に務め、動植物の貴重な営みを大自然と分かち合いながらワインづくりに勤めています。



おすすめ 情報

イベント、 各種インフォメーション

ラグジュアリーなホテルに魅力的な家族向けのロッジ。お好みの滞在スタイルでプロヴァンスのアール・ド・ヴィーヴル（暮らしの芸術）にふれ、忘れられない時間をお過ごしください。

伝統が息づき、さまざまな催しが盛んなリュブロン。舞台芸術は年間を通して楽しむことができ、4月から9月までの期間は特別なプログラムが上演されます。滞在中は、コンサート、パーティー、フェスティバルなどを存分にお楽しみいただけることでしょう。また美術や工芸の分野も活気があります。リュブロン素材や伝統にインスピレーションを得たアーティストや職人と、彼らのエネルギーと想像力を分かち合ってください。



おいしいものが知りたい

- ・料理教室に参加して一日シェフに
- ・オリーブオイル博物館でテイスティングを体験
- ・60以上のワイン醸造所を見学
- ・トリュフ狩りに挑戦
- ・フルーツのコンフィ（砂糖漬け）工場を見学
- ・リュブロン草花を使った料理を習う
- ・ワインのアッサンブラージュに挑戦
- ・リュブロン中の村で一年を通して毎日開かれる市場へ

大自然と風景を堪能

- 自然、静けさ、安らぎを求めるあなたへのおすすめ：
- ・高級ホテルでのスパとティーブレイク
 - ・ブドウ畑でのヨガクラス
 - ・レベル別のハイキングコース
 - ・リュストレル (Rustrel)
 - ・コロラド・プロヴァンサル (Colorado Provençal) やルシヨンの「オークルの道」 (sentier des ocres)
 - ・ボニユー (Bonnieux) の杉林
 - ・ラベンダー博物館
 - ・リュブロンを空から見下ろす熱気球フライト

文化をくわしく知りたい

- リュブロン文化・歴史・遺産を知るおすすめスポット：
- ・ルールマラン城
 - ・カヴァイヨンのシナゴーク
 - ・アガー邸
 - ・セナンク修道院
 - ・シルヴァカーヌ修道院 (Abbaye de Silvacane)
 - ・シャンデリア工房マチュー (Lustrerie Mathieu)
 - ・ミヌ・ド・ブリュー
 - ・オクラ・エコミュージアム (Usine Okhrà)
 - ・ボリーの村
 - ・サン・フィルマン宮殿のカーヴ
 - ・カンプルドン
 - ・ヴィラ・ダトリス (Villa Datris)
 - ・フィラヴァンチュール
- …ほかにも多数あります。

スポーツを楽しみたい

- ・カヴァイヨンでヴィア・フェラータに挑戦
- ・マドレーヌの丘 (colline de la Madeleine) でクライミング
- ・デュランス川でカヌー体験
- ・カラヴォン・サイクリングルートに行く
- ・数十ある自転車周遊コースを巡る
- ・乗馬を楽しむ
- ・トレイルルートを走る



スポーツの聖地

ラグビーワールドカップ

2023年9月8日から10月28日まで、フランスでラグビーワールドカップ開催。

パリ2024 オリンピック・ パラリンピック競技大会

2024年7月11日から8月11日まで、フランスでオリンピック開催。パリから電車で2時間半のリュブロンに立ち寄り、マルセイユへ足を延ばして海洋競技(セーリング)の観戦はいかがでしょう。

リュブロン的一年を
彩る催しを
どうぞお見逃しなく!



2023年9月

9月16日、17日
ヨーロッパ文化遺産の日

9月21日から24日
カヴァイヨン映画祭
(Rencontres Cinématographiques de Cavaillon)

9月30日から10月1日
「ニューアート芸術祭」
(Festival New Art) —
ルールマラン

9月22日から24日
フェスティバル「美術史と
の出会い」(Rencontres de
Histoire de l'Art) —
リル・シュル・ラ・ソルグ

2024年3月

3月30日
トレイルランニング大会
「ラン・ラーニュ」
(Run Lagnes)

グルメハイキング

2023年10月

10月6日から8日
「ヴァイキング祭り」
(Fête Viking) —
リル・シュル・ラ・ソルグ

10月7日
グルメハイキング「蜂蜜と
ヌガー」(Rando Gourmande
-Miel & Nougat)

10月19日から22日
「魅惑の週末」
(Le Fascinant Weekend) —
フランス国内のワイン生産地

10月22日、
リュブロンではイベントの
熱気が最高潮に

2024年4月

4月1日(復活祭の週末)
国際アンティーク見本市
(Foire Internationale
Antiquités & Brocante) —
リル・シュル・ラ・ソルグ

2023年11月

11月25日
グルメハイキング
「トリュフ」
(Rando Gourmande Truffe)

11月5日
「トレイル・デ・モン・
ド・ヴォークリューズ」
(Trail des Monts de
Vaucluse)

2024年5月

5月19日
ワインピクニック
「リュブロン・アン・
トゥー・サンズ」
(Luberon en Tous Sens)

美食とワインとスペクタク
ル「フェスティバル・コンフィ
ーラギヤンス」
(Festival Confit — La
Garance) —カヴァイヨン

文学イベント
「リール・シュル・ラ・ソルグ」
(Liresur la Sorgue) —
リル・シュル・ラ・ソルグ

2023年12月

クリスマス市

12月9日
グルメハイキング
「ワイン」
(Rando Gourmande Vin)

アガー邸(Hôtel d'Agar)
でイエスキリストの
降誕場面をミニチュア人形で
再現した「クレーシュ」の
展示 —カヴァイヨン

2024年6月

「リュブロン、ブドウ畑の夕べ」(Sunsets Vignerons en Luberon) >9月まで

タイヤードの夏祭り(LeS Estivales des Taillades)

水上マーケット
—リル・シュル・ラ・ソルグ

ロックイベント
「フェスティバル・ウィヤハ」
(Festival Yeah!) —
リュブロン

6月7日から9日
「テロアール・アン・フェット」
(Terroiren Fête) —
シャトーヌフ・ド・ガダグニ
(Châteauneuf-de-Gadagne)

2024年1月

グルメハイキング

2024年7月

「ワイン映画祭」(Cinéma des Vignes)

ワイン音楽祭「レ・ミュージカル・ダン・レ・ヴィーニュ」
(Les Musicales dans les Vignes) >9月まで

村祭り「ワインとディ
ナー」(Wine & Dine) —
ルールマラン

パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会

夏季限定ガイドツアー

2024年2月

グルメハイキング

2024年8月

8月15日
国際アンティーク見本市
—リル・シュル・ラ・
ソルグ

リュブロン 取材旅行の例



宿泊施設

- ▶ パラス認定ホテル：1軒
 - ・ラ・バステード・ド・ゴルド (La Bastide de Gordes)
- ▶ 5つ星ホテル：6軒
 - ・レ・ボリー・エ・スパ (Les Bories & Spa)
 - ・ル・フェビュス (Le Phébus)
 - ・ラ・コキヤード (La Coquillade)
 - ・ドメヌ・ド・カプロング (Domaine de Capelongue) …
- ▶ 4つ星ホテル：12軒
 - ・ル・プチ・パレ・ダグラエ (Le Petit Palais d'Aglaié)
 - ・ムーラン・ド・ルールマラン (Moulin de Lourmarin)
 - ・フォントウニル (Fontenille)
 - ・グラン・ホテル・アンリ (Grand Hôtel Henri)
 - ・フェルム・ド・ラ・ユップ (Ferme de la Huppe)
 - ・マス・ド・ギル (Mas de Guilles) 等

オテル・ド・シャルム*

- マス・デ・グレ (Mas des Grès)
- カルカリーユ (Carcarille)
- オテル・デュ・パルク (Hôtel du Parc)
- ル・ガリエ (Le Galinier) …

まるで自宅にいるかのようにくつろげるシャブルドットや、リュブロンを満喫できる賃貸住宅、貸し別荘も数多くあります。

www.destintationluberon.com

*オーナーのこだわりを反映した、顧客への個別サービスを提供する小規模ホテル。

1日目

- ✓ 午前中到着：午後から活動開始。
- ✓ 昼食後は**ゴルド**へ。「フランスの美しい村々」に認定されているゴルドを訪ねます。100年の歴史がある石畳の小路を散策。リュブロンを息を呑むような絶景をお楽しみください。
- ✓ **セナンク修道院**を訪問。石壁とラベンダーが織りなす美景に囲まれた12世紀の修道院は、シトー会建築の傑作です。時間を忘れるひとときを過ごしましょう。
- ✓ ホテルにチェックインを済ませ、ゆっくりお休みください。

2日目

- ✓ リュブロンを**発見**する一日のスタートはトリュフから。生産者からこの貴重なキノコの収穫方法について伺います。
- ✓ **ルールマラン**で昼食。ルールマランは「フランスの美しい村々」のひとつであり、作家**アルベール・カミュ**が生前最後に暮らした村でもあります。花々に彩られた小路を歩き、アートギャラリーや工芸品のショップなどを訪ねましょう。
- ✓ 一日の終わりに**ワイン**農園を訪問。リュブロンを**発見**する一日のスタートはトリュフから。生産者からこの貴重なキノコの収穫方法について伺います。

3日目

- ✓ 午前中、「フランスで最も美しい村」である**ルシヨン**を訪問します。華やかな色と活気あふれる街並みが特徴のルシヨンは、世界最大のオークル（赤土・黄土）の埋蔵量を誇ります。
- ✓ 「**オークルの道**」でハイキング。深紅や明るいオレンジ、黄金色に輝くオークル採掘場跡の美しい景色をお楽しみください。
- ✓ 街で昼食タイム。
- ✓ 午後は「**コンタヴネサンのヴェニス**」こと**リル・シュル・ラソルグ**の街を散策します。かつて漁村だった街は、その文化に育まれた遺産を大切に保存しており、いまなお川との深い結びつきがあります。





DESTINATION LUBERON

リュブロン観光局

Bianca OGEL プロモーション&広報責任者

✉ b.ogel@destinationluberon.com

+33 (0)6 08 94 83 01

Franck DELAHAYE ディレクター

✉ f.delahaye@destinationluberon.com

CAVAILLON カヴァイヨン観光案内所

Place François Tourel

+33 (0)4 90 71 32 01

GORDES ゴルド観光案内所

Le Château

+33 (0)4 90 72 02 75

LOURMARIN ルールマラン観光案内所

Place Henri Barthélémy

+33 (0)4 90 68 10 77

インバウンドサービス

グループ向け、個人向けなどお好みに合わせ旅をアレンジ。地域のインバウンド事業者と連携した各種お手配、その他ご要望を承ります。

旅行業登録番号 : IM084170001

www.luberon-tourisme.com

www.destinationluberon.com